

平成29年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 五洋インテックス株式会社
 コード番号 7519 URL <http://www.goyointex.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大脇 功嗣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小林 光博

TEL 0568-76-1050

定時株主総会開催予定日 平成29年6月29日

有価証券報告書提出予定日 平成29年6月30日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期の連結業績(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期	2,164	31.3	22		27		24	
28年3月期	1,648	3.2	3		76		86	

(注) 包括利益 29年3月期 22百万円 (%) 28年3月期 90百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年3月期	1.50		3.2	1.7	1.0
28年3月期	6.01		12.9	5.2	0.2

(参考) 持分法投資損益 29年3月期 0百万円 28年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期	1,836	828	45.1	49.92
28年3月期	1,487	721	48.5	46.86

(参考) 自己資本 29年3月期 828百万円 28年3月期 721百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年3月期	65	115	22	257
28年3月期	6	9	72	330

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年3月期		0.00		0.00	0.00			
29年3月期		0.00		0.00	0.00			
30年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,020	0.1	65		80		90		5.42
通期	2,400	10.9	70		55		40		2.41

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 株式会社レックアイ

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数

29年3月期	16,603,174 株	28年3月期	15,403,074 株
29年3月期	4,179 株	28年3月期	3,119 株
29年3月期	16,399,113 株	28年3月期	14,359,826 株

(参考)個別業績の概要

1. 平成29年3月期の個別業績(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期	1,354	10.6	58		50		66	
28年3月期	1,515	2.8	6		80		89	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期	4.08	
28年3月期	6.20	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
29年3月期	1,428		783		54.9	47.23		
28年3月期	1,468		719		49.0	46.71		

(参考) 自己資本 29年3月期 783百万円 28年3月期 719百万円

2. 平成30年 3月期の個別業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	660	7.7	65		70		円 銭
通期	1,530	13.0	10		3		4.22
							0.18

決算短信は監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、政府の政策を背景に緩やかな回復基調が見られましたが、海外景気の下振れリスク、個人消費の伸び悩みなど景気は依然として不透明な状況で推移いたしました。当社グループを取り巻く事業環境は、室内装飾品関連（カーテン等）市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数は増加いたしました。

このような状況の下、当社グループの売上高は、平成28年6月に株式交換により株式会社レックアイを完全子会社化し、同社の事業であります住宅産業のシステム開発及び販売等（IT関連）が寄与したこと、室内装飾品関連では子会社であります株式会社イフの外商が好調に推移したことなどにより、大幅な増加となりました。

利益面におきましては、販売費及び一般管理費において、給料及び手当、賞与及び賞与引当金繰入額が大幅に増加し、また、貸倒引当金繰入額及び株式交換に伴う支払手数料が発生いたしました。

以上の結果、売上高は前年同期比31.3%増の2,164百万円、営業損失は22百万円（前連結会計年度は3百万円の営業利益）、経常損失は27百万円（前連結会計年度は76百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は24百万円（前連結会計年度は86百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より報告セグメントの区分を変更しており、新たに量的な重要性が増したIT関連を追加し、金額的な重要性が乏しい環境関連を省略しております。IT関連につきましては、前連結会計年度の実績が無いことから、前連結会計年度との対比の記載はしておりません。

(室内装飾品関連)

売上高は、株式会社イフの外商が好調に推移したことなどにより増加いたしました。

以上の結果、売上高は前年同期比0.4%増の1,502百万円、営業利益は前年同期比0.4%減の146百万円となりました。

(IT関連)

住宅産業のシステム開発及び販売等により、結果として売上高は623百万円、営業利益は10百万円となりました。

(その他)

塗料の販売により、結果として売上高は前年同期比74.5%減の38百万円、貸倒引当金繰入額の発生等により営業損失は28百万円（前連結会計年度は0百万円の営業損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ189百万円増加して1,172百万円となりました。これは、現金及び預金が20百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が186百万円増加したことなどによります。固定資産は、159百万円増加して664百万円となりました。これは、貸倒引当金が22百万円増加したものの、ソフトウェア仮勘定が65百万円増加、投資その他の資産のその他（出資金等）が52百万円増加、破産更生債権等が22百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ348百万円増加し、1,836百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ159百万円増加して584百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金74百万円増加、短期借入金30百万円増加、その他（未払金等）が21百万円増加したことなどによります。固定負債は、81百万円増加して423百万円となりました。これは、長期借入金76百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ241百万円増加し、1,007百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ107百万円増加して828百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純損失が24百万円となったものの、株式交換による新株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ64百万円増加したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は65百万円の収入、「投資活動によるキャッシュ・フロー」は115百万円の支出、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は22百万円の支出となり、「現金及び現金同等物の期末残高」は前連結会計年度末に比べ72百万円減少し、257百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、65百万円の収入（前連結会計年度は6百万円の支出）となりました。主な収入は、減価償却費54百万円、貸倒引当金の増加による27百万円、支出は、売上債権の増加による55百万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、115百万円の支出（前連結会計年度は9百万円の支出）となりました。主な支出は、無形固定資産の取得による支出40百万円、出資金の払込による支出20百万円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、22百万円の支出（前連結会計年度は72百万円の収入）となりました。主な収入は、長期借入れによる収入185百万円、短期借入れによる収入125百万円、支出は、長期借入金の返済による支出231百万円、短期借入金の返済による支出100百万円であります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、海外景気の不確実性、個人消費の足踏みなどから国内経済は不透明であり先行きは見通しづらい状況にあります。

室内装飾品関連（カーテン等）業界におきましては、これまで新設住宅着工総戸数は増加しておりましたが、マンション等の販売率の低下もあり、今後は当面、弱含みで推移するものと思われまます。

このような状況の下、当社グループはメインブランドであります「インハウス」見本帳の5年ぶり大幅改訂による売上効果を見込むとともに、営業推進部を新設し、営業ツールの強化、新規マーケットの開拓に力を入れ室内装飾品関連の売上高増加を目指してまいります。

また、平成28年6月より当社グループの一員となりました株式会社レックアイは、住宅産業のシステム開発・販売のほか、「不動産+フィンテック（ITと金融の融合）」を組み合わせた新しい「不動産テック」関連事業を推進してまいります。

次期（平成30年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高2,400百万円、営業利益70百万円、経常利益55百万円、親会社株主に帰属する当期純利益40百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、主に国内において事業活動を行っていることから、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	352,583	332,184
受取手形及び売掛金	312,380	499,219
商品	275,759	282,525
仕掛品	-	14,253
原材料及び貯蔵品	9,282	16,819
繰延税金資産	-	12,582
その他	33,920	20,542
貸倒引当金	△1,335	△5,939
流動資産合計	982,591	1,172,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	137,309	129,201
機械装置及び運搬具(純額)	247	177
土地	289,500	289,500
リース資産(純額)	4,877	6,705
建設仮勘定	-	13,490
その他(純額)	4,960	4,501
有形固定資産合計	436,896	443,574
無形固定資産		
のれん	-	7,253
商標権	182	151
電話加入権	-	21
ソフトウェア	6,416	17,703
ソフトウェア仮勘定	-	65,201
無形固定資産合計	6,599	90,331
投資その他の資産		
投資有価証券	25,172	28,117
破産更生債権等	80,374	103,194
差入保証金	32,013	45,139
その他	4,336	56,915
貸倒引当金	△80,374	△103,194
投資その他の資産合計	61,522	130,172
固定資産合計	505,018	664,078
資産合計	1,487,609	1,836,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	155,263	153,355
短期借入金	113,500	143,500
1年内返済予定の長期借入金	84,008	158,786
リース債務	841	1,211
未払法人税等	14,315	21,879
未払消費税等	13,185	31,085
賞与引当金	6,316	15,999
その他	37,280	58,592
流動負債合計	424,710	584,410
固定負債		
長期借入金	290,155	367,058
リース債務	4,298	5,522
繰延税金負債	1,967	2,824
退職給付に係る負債	32,582	35,489
役員退職慰労引当金	5,324	5,324
資産除去債務	6,963	6,977
固定負債合計	341,291	423,195
負債合計	766,002	1,007,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,903	1,157,709
資本剰余金	406,199	471,005
利益剰余金	△785,246	△809,763
自己株式	△429	△559
株主資本合計	713,427	818,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,180	10,268
その他の包括利益累計額合計	8,180	10,268
純資産合計	721,607	828,660
負債純資産合計	1,487,609	1,836,266

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
売上高	1,648,235	2,164,222
売上原価	939,019	1,182,824
売上総利益	709,215	981,398
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	252,547	346,735
賞与	6,768	17,873
賞与引当金繰入額	6,316	14,940
貸倒引当金繰入額	-	30,998
退職給付費用	5,738	7,043
業務委託費	40,839	46,438
賃借料	54,976	63,004
減価償却費	17,173	20,395
のれん償却額	-	3,626
支払手数料	-	17,579
その他	321,290	435,138
販売費及び一般管理費合計	705,652	1,003,775
営業利益又は営業損失(△)	3,563	△22,377
営業外収益		
受取配当金	690	697
為替差益	2,424	1,745
保険解約返戻金	9	509
その他	3,662	8,679
営業外収益合計	6,786	11,632
営業外費用		
支払利息	10,555	12,965
売上割引	454	514
持分法による投資損失	-	864
貸倒引当金繰入額	54,850	-
創立費償却	322	-
株式交付費	12,852	-
その他	7,745	2,396
営業外費用合計	86,780	16,740
経常損失(△)	△76,429	△27,485
特別利益		
違約金収入	-	24,434
新株予約権戻入益	332	-
特別利益合計	332	24,434
特別損失		
減損損失	-	5,091
固定資産除却損	0	11,994
特別損失合計	0	17,086
税金等調整前当期純損失(△)	△76,097	△20,136
法人税、住民税及び事業税	10,188	16,962
法人税等調整額	-	△12,582
法人税等合計	10,188	4,379
当期純損失(△)	△86,285	△24,516
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△86,285	△24,516

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
当期純損失(△)	△86,285	△24,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,756	2,088
その他の包括利益合計	△3,756	2,088
包括利益	△90,041	△22,428
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△90,041	△22,428

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	993,620	306,916	△698,961	△405	601,169	11,936	11,936	2,019	615,126
当期変動額									
新株の発行(新株予約権の行使)	99,283	99,283			198,567				198,567
株式交換による増加	-	-			-				-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△86,285		△86,285				△86,285
自己株式の取得				△24	△24				△24
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△3,756	△3,756	△2,019	△5,775
当期変動額合計	99,283	99,283	△86,285	△24	112,257	△3,756	△3,756	△2,019	106,481
当期末残高	1,092,903	406,199	△785,246	△429	713,427	8,180	8,180	-	721,607

当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,092,903	406,199	△785,246	△429	713,427	8,180	8,180	-	721,607
当期変動額									
新株の発行(新株予約権の行使)	-	-			-				-
株式交換による増加	64,805	64,805			129,610				129,610
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△24,516		△24,516				△24,516
自己株式の取得				△129	△129				△129
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						2,088	2,088	-	2,088
当期変動額合計	64,805	64,805	△24,516	△129	104,964	2,088	2,088	-	107,052
当期末残高	1,157,709	471,005	△809,763	△559	818,391	10,268	10,268	-	828,660

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△76,097	△20,136
減損損失	-	5,091
減価償却費	17,173	54,725
貸倒引当金の増減額(△は減少)	54,565	27,425
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,739	983
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,655	2,906
受取利息及び受取配当金	△742	△866
支払利息及び社債利息	10,555	12,965
株式交付費	9,496	-
持分法による投資損益(△は益)	-	864
のれん償却額	-	3,626
違約金収入	-	△24,434
新株予約権戻入益	△332	-
有形固定資産除却損	0	0
無形固定資産除却損	-	11,994
売上債権の増減額(△は増加)	△774	△55,629
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,666	27,413
仕入債務の増減額(△は減少)	26,468	△1,907
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,455	17,899
その他の資産の増減額(△は増加)	△38,211	49
その他の負債の増減額(△は減少)	2,635	△197
小計	4,920	62,774
利息及び配当金の受取額	738	750
利息の支払額	△10,480	△12,818
違約金の受取額	-	24,434
法人税等の支払額	△1,770	△9,597
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,591	65,543
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△360	△18,040
有形固定資産の取得による支出	△7,152	△16,609
無形固定資産の取得による支出	-	△40,591
出資金の払込による支出	-	△20,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△7,084
貸付けによる支出	-	△4,200
貸付金の回収による収入	-	400
その他の収入	155	1,210
その他の支出	△2,217	△10,501
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,574	△115,416

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	125,000
短期借入金の返済による支出	△30,000	△100,000
長期借入れによる収入	97,000	185,000
長期借入金の返済による支出	△180,990	△231,253
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△450	△995
自己株式の取得による支出	△24	△129
新株予約権の行使による株式の発行による収入	187,051	-
新株予約権の発行による収入	332	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	72,918	△22,378
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	56,751	△72,251
現金及び現金同等物の期首残高	273,357	330,109
現金及び現金同等物の期末残高	330,109	257,858

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当連結会計年度に適用し、平成28年4月1日以降に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当連結会計年度において、連結財務諸表への影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、商品の種類及び販売市場別を基本に、主にカーテン及びカーテン生地を中心とした「室内装飾品関連」と主にシステムを中心とした「IT関連」の2つのセグメントから構成されており、事業ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益又は損失(△)ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結損益計算 書計上額 (注)3
	室内装飾品 関連	IT関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,496,162	—	1,496,162	152,072	1,648,235	—	1,648,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,496,162	—	1,496,162	152,072	1,648,235	—	1,648,235
セグメント利益又は 損失(△)	146,915	—	146,915	△916	145,999	△142,435	3,563

(注)1 その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分しない全社費用が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益又は損失(△)と調整を行っております。

4 セグメント資産及び負債は、意思決定するうえで重要でないことから記載を省略しております。

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結損益計算 書計上額 (注)3
	室内装飾品 関連	I T関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,502,031	623,390	2,125,422	38,800	2,164,222	—	2,164,222
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,502,031	623,390	2,125,422	38,800	2,164,222	—	2,164,222
セグメント利益又は 損失(△)	146,256	10,081	156,338	△28,061	128,276	△150,653	△22,377

(注)1 その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分しない全社費用が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益又は損失(△)と調整を行っております。

4 セグメント資産及び負債は、意思決定するうえで重要でないことから記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
1株当たり純資産額 46.86円	1株当たり純資産額 49.92円
1株当たり当期純損失金額(△) △6.01円	1株当たり当期純損失金額(△) △1.50円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 算定上の基礎は、次のとおりであります。

1 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	721,607	828,660
普通株式に係る純資産額(千円)	721,607	828,660
普通株式の発行済株式数(株)	15,403,074	16,603,174
普通株式の自己株式数(株)	3,119	4,179
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	15,399,955	16,598,995

2 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△86,285	△24,516
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△86,285	△24,516
普通株式の期中平均株式数(株)	14,359,826	16,399,113

(重要な後発事象)

該当事項はありません。